



青年委員会ニュース

第3号

2015年12月12日

【発行責任者】

連合徳島青年委員会

教室班

2015 連合徳島青年委員会活動総括

「働くことを軸とした安心社会」の構築へ

連合徳島青年委員会では、

青年層の労働組合運動への参画は急務であるとの認識のもと、「前向きな仲間との連帯」、「自立した人材の育成」を大事にしながら、日々の活動を進めてきました。

具体的には、「仲間の声をよく聞く」ことをベースにし、みんなが話しやすい雰囲気づくりに努めてきました。その甲斐もあり、明るい雰囲気の中で、活力のある活動を進めることができました。

連合での活動を通じて、たくさんさんの経験と、多くの仲間との出会いがあり、これは私

たち青年委員会のおかげがない大きな財産になっていきます。そういった財産を共有し、さらに大きく膨らませていくためにも、その仲間の輪をもっと大きく、強固なものにしていくことが、今後の課題です。

私たちが、より良く働く環境を作っていくためには、私たち自身が職場ルールの運用者・点検者となって、アンテナを広く張って情報の感度を上げ、個々の知識を深めることが必要です。そして、不正や違反に対しての問題提起、また更なる改善提案の

ため、仲間と共に職場から声を上げ続けていくことが不可欠です。

最後に、連合に集う仲間の人1人が主役として連合活動へ積極的な参加をしていきましょう。



△ 連合徳島青年委員会メンバー (KNT47in徳島より)

2015青年委員会活動経過

- ◆連合徳島 2014 青年委員会総会
- ◆2015 春季生活闘争開始宣言徳島集会
- ◆2015 春季生活闘争勝利徳島県総決起集会
- ◆古賀会長とニューリーダーの直接対話 KNT47in 徳島
- ◆第86回徳島中央メーデー
- ◆青年委員会・女性委員会合レクレーション
- ◆国会前座り込み行動
- ◆連合本部リーダー研修
- ◆地域活性化フォーラム in あなん
- ◆戦後70年連合徳島平和行動
- ◆「連合の森」親子サマーキャンプ
- ◆連合徳島平和行動 in ヒロシマ
- ◆連合青年委員会・女性委員会秋季合同研修会
- ◆連合四国ブロック青年・女性合同会議 他



△ 小畑文人さん

早いもので、2015年も間もなく終わります。みなさんにとって、今年はどうな1年だったでしょうか。

私自身の今年1年の連合活動の感想として、KNT47で古賀会長から組合活動

1年を終えて
（青年委員長）

の原点について改めての示唆を得たこと、戦後70年を迎える中で、広島平和行動への参加を通して、平和の尊さを維持していくことの難しさを再認識しました。また、メディアリテラシー研修の中では、情報への向き合い方について知識・見解を得たことが強く印象に残っています。そして、これまでと同様、心強い仲間を支えられて、無事に乗り越えることができました。

～ 全水道の職場を紹介します ～



徳島市水道局
浄水課
水質検査室
志築 勇太

私の勤務する水質検査室は、水道の原水となる地下水、伏流水、表流水や各配水エリアの給水栓における浄水の水質検査などを行っています。

このようにして水道水の水質が法律で定められた基準を満たしているかを検査することによって各家庭や施設等に使用される水道水の安全性を確保できるように日々頑張っています。



徳島市水道局
浄水課
浄水係
上田 直希

私の配属されている浄水係では、徳島市内の全配水施設のコントロールを行っています。また、配水施設で異常が発生した場合には、現場にかけつけ対応しています。

私たち浄水係の職員は24時間365日監視を行い、水質基準を満たした水作りを徹底し、お客様にいつでも安心して水道を使っていただけるよう日々頑張っています。



徳島市水道局
施設整備課
長岡 拓也

私の職場は、全長1,105kmにおよぶ徳島市内の水道管の整備をしています。長期的な計画に基づき古くなった水道管を新しくする工事の設計を行っています。また、鉛製給水管の撤去推進など、安全な水を市民の皆さまにお届けする為に業務に励んでいます。

ライフラインの要として、これからも公共性を守る取り組みを進めていきます。



徳島市水道局
営業課
窓口サービス係
山本 翔太

徳島市水道局営業課では、水道の加入や引越などによる中止の連絡を受付けます。また、水道メーターの検針に伺いお客様に水道料金を請求させていただきます。この際に漏水の疑いがあれば漏水調査の対応もさせて頂いています。

どの係も市民の皆様と関わることが多いので、市民サービスを心がけ、日々仕事に取り組んでおります。

解雇の自由化など、労働者保護ルールの改悪には断固反対！！ ～「迫り来る『正社員ゼロ、残業代ゼロ、クビ切り自由社会』」～

政府は、成長戦略の名のもとに、働く者の雇用をおびやかすような労働者保護ルールの改悪（＝解雇ルールや労働時間ルールなどの緩和）を行おうとしています。職業を持つ人の9割が雇用労働者である「雇用社会日本」において、働く者の犠牲の上に成長戦略を描くことなど決して許されるものではありません。

○カネさえ払えばクビ切り自由化【解雇の金銭解決制度の導入】

○クビにしやすい正社員制度の普及【限定正社員】

○過労死を増大させる懸念のある制度の導入【ホワイトカラー・エグゼンプション】

○ねらいは正社員ゼロ、“生涯”ハケンで“低賃金”のルール改正【派遣法の改悪】

◎今こそ声をあげるとき！！

働く人の権利を次々に奪い、「世界で一番ビジネスがしやすい国」を作る、こうした働く人を成長の踏み台にするような動きは、働く人の力を結集して阻止する必要があります。今こそ、声をあげるときです！